

東海第2運転延長

2018年11月7日、原子力規制委員会が日本原子力発電東海第2原子力発電所の運転期間の延長を認めました。全国紙の社説比較でございます。今回は原電という会社の話に注目します。

東海第2原発 運転延長は適切な判断だ

11月9日主張

福島事故によって原発の新增設は、困難な状況が続いている。そうした中で、規制委の厳格な安全審査と運転延長審査に合格した高経年原発の運転延長は、電力の安定供給に資するものとして歓迎したい。

156万部
2017年1月～6月平均
(参考資料1)

東海第2の安全性強化策として日本原電は、3年後の3月完了を目指し、液状化にも耐える強固な鋼管杭（くい）鉄筋コンクリート製で高さ20メートルの防潮堤の建設を急ぐ。格納容器の破損防止のための複数の防護装置も導入する。

やがて来る首都直下地震で、東海第2が国家中枢のブラックアウトを救うことも期待できる。

「東海第二」延長 地元の同意をいかに得るか

11月9日社説

原電

日本原電の保有原発は全て停止中だ。資金繰りは危うい。原発が置かれた厳しい状況を物語る。経済産業省が後ろ盾となる姿勢を示し、必要な工事費は確保できると判断された。安全確保のためのコストは惜しむべきではない。

835万部
2018年9月
(参考資料2)

北海道地震の際に発生した大規模停電で、電力の安定供給の重要性が改めて認識された。原発は当面、基幹電源の一つだ。九州や四国、関西で再稼働が進む一方で、東日本では原発ゼロが続く。東海第二は出力110万キロ・ワットの大型原発だ。再稼働の実現へ、政府は前面に出るべきだ。

参考資料

①産経新聞メディアデータ
<http://www.sankei-ad-info.com/data/>
②読売新聞メディアデータ
<http://advyomiuri.com/mediadata/>

③日経新聞メディアデータ
<https://adweb.nikkei.co.jp/paper/index.html#paper02>
④毎日新聞の配布エリアと販売部数
<http://macs.mainichi.co.jp/now/media01/index.html>
⑤朝日新聞媒体資料DATA FILE 2017-18
https://adv.asahi.com/ad_info/media_kit/11183349.html

原電

日本原電は大手電力各社が出資し、つくった電気を電力会社に売る卸売り專業会社だ。同社の原発2基のうち敦賀2号機（福井県敦賀市）は再稼働の見通しが立たず、東海第2の再稼働の可否が経営を左右する。**事業形態がこのままでよいのか。電力業界を中心に再考する必要もある**だろう。

242万部

2018年7月
(参考資料③)

東海第2原発の再稼働 周辺5市の了解は難しい

11月9日社説

原電

原電は大手電力会社などの共同出資による原発專業会社だ。福島第1原発事故後は発電量ゼロが続く経営難の中、東京電力と東北電力の支援を受けて東海第2の安全対策費1740億円を調達する方針だ。だが、現時点で再稼働は見通せない。株主の電力会社はいつまで原電を支え続けるのか。その原資は電気代で、国民負担と言っている。**再稼働にこだわるよりも、廃炉事業に軸足を置くなど、原電の経営の見直しが先決**である。

282万部

2018年1月～6月平均
(参考資料④)

東海第二原発 再稼働は容認できない

11月8日社説

原電

1740億円以上と見込まれる安全対策工事費の問題も見過ごせない。経営難の原電は自力で資金を調達できず、株主で電気の販売先でもある東電と東北電力に支援してもらおう方針だ。だが、東電は福島事故後、実質国有化で救済され、巨額の国民負担によって延命されている。他社を助ける資格があるのか、極めて疑問だ。「見切り発車」で工事を進めても、地元同意を得られなければ、巨額の投資は無駄になる。原電はまず、地元との対話に注力すべきだ。東電も支援のリスクや合理性を見極め、説明を尽くさねばならない。

593万部

2018年1月～6月平均
(参考資料⑤)

最後に一言

会社は結局、自社の利益が最重要事項のはず。原電は原発を動かすことでしか利益を得られないんですから、何が何でも原発を動かしたいと考えるのは当然。そして、そのことによって何かしら自社の利益になると考えれば東電や東北電力が支援するのも当然。でも、原発を動かすということは必ず一と未来の人類に対して残す負の遺産を増やす、ということに他なりません。民間の会社を100年続けるのでさえ、大変なことなのに、何百年、何千年、何万年先を見越して経営しろって方が無理な話です。ということは原発って民間の会社に動かさせてはいけないものってことになりませんかねえ。